

Tachyon

[タキオン]



なかにし礼氏によって作詩された公立小松大学校歌のタイトルは「光より速きわれら」。ときに光速をも超える思念やインスピレーションが本学学生・職員の spirit から発せられるよう願ひ、本誌のタイトルとして選んだのが「タキオン」(Tachyon)である。Tachyonは、未だ確認されていない粒子であるが、光より速い速度をもつとされ、ギリシャ語の「ταχύς(速い)」を語源とする。

学長 山本 博

(図出典：Institut for teoretisk Fysik)

We Enjoy
Campus Life
料理サークル

※大学HPでは、広報室学生委員によるサークル突撃取材の記事を公開しています。



01 次世代考古学研究センターを設立

03 大学TOPICS

05 経済波及効果、新入生インタビュー

06 教員紹介 上田芳弘 生産システム科学科教授

07 令和6年度 入学者選抜情報・第6回青松祭

vol. 11
2023.09

令和6年度 公立小松大学入学者選抜試験 (2024年度)

学校推薦型選抜、一般選抜の出願方法は、インターネットを利用した Web 出願です。
各試験の募集要項は、9月以降にホームページで順次発表予定です。

区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限	
学校推薦型選抜	地域推薦 (市内、県内)	11月1日(水) ～8日(水)	11月18日(土)	12月8日(金)	12月15日(金)
	一般推薦	12月14日(木) ～22日(金)	令和6年 2月3日(土)	令和6年 2月7日(水)	令和6年 2月14日(水)
一般選抜	前期日程	令和6年 1月22日(月) ～2月2日(金)	令和6年 2月25日(日)	令和6年 3月6日(水)	令和6年 3月15日(金)
	中期日程		令和6年 3月10日(日)	令和6年 3月21日(木)	令和6年 3月27日(水)
社会人選抜	11月1日(水) ～8日(水)	11月18日(土)	12月8日(金)	12月15日(金)	

(単位：人)

学 部	学 科	入学定員	選抜区分と募集人員					社会人選抜
			一般選抜		学校推薦型選抜		地域推薦	
			前期日程	中期日程	一般推薦	市 内		
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	—
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名*
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名*
	計	80	47	13	5	7	8	若干名*
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	7	6	—
合 計		240	122	58	19	20	21	若干名*
大学入学共通テスト			課す		課さない			

※社会人選抜の募集人員は、各学科の一般選抜の内数とします。

公立小松大学祭「第6回青松祭」

脱出ゲーム、縁日、各サークルによるステージ発表など在校生はもちろん、地域の方々にも楽しんでもらえるイベントが盛りだくさん。皆さんぜひお越しください！

青松祭

今年のテーマは、
Break the Limit
ハジける！
みらいへ！



青松祭実行委員

日時 **10月21日** 10:00～17:00

場所 中央キャンパス

Twitter:@seishousai
Instagram:@seishousai_komatsu

◀ 問い合わせ ▶ 中央キャンパス 学生課 ☎ 0761-23-6610



NON-VOC植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

センターの活動を担う2つの研究部門

小松の石文化(日本遺産)研究部門

小松市及びその周辺地域で産出する「石」の文化資源に焦点を当てた地域活性化に取り組むことで、本学設置の基本理念でもある小松市民との地域共創や地域貢献を目指します。特に、①小松の石の文化を通じた、産官学協働による地域社会活性化の推進、②小松市の文化財関連施策への協力・貢献、③公立小松大学生に対する地域活性化にかかるフィールド教育手法の開発を進展させます。

研究事例

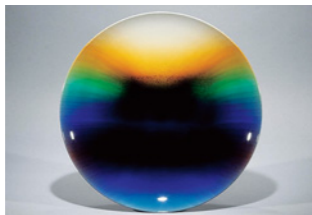
鵜遊立地域の活性化

遊泉寺銅山跡の再生、活用と一体となった地域活性化の取り組みへ参画し、地域住民や小松市との連携のもと活動を展開していきます。



九谷焼を通じた地域振興

小松市や能美市、九谷焼作家とも協力し、九谷焼産地のPR活動等を行うことで、歴史的遺産や伝統工芸を通じた地域振興に貢献していきます。



滝ヶ原地区の活性化

小松市や地域住民との協力のもと、PR動画の制作、石橋や石切り場の360度バーチャルマップの制作等を行っています。



市民公開フォーラム
次世代考古学が拓く未来
～マヤ文明世界遺産における国際貢献と
小松の石文化を用いた地域貢献～

入場無料
要事前申込

日時 10月29日(日) 14時～
場所 サイエンスヒルズこまつ 3Dスタジオ
問い合わせ 次世代考古学研究センター
☎ 0761-48-3296

マヤ文明世界遺産研究部門

世界遺産にも登録されている中米グアテマラのティカル国立公園とホンジュラスのコパンのマヤ遺跡に設置した本学のリエゾンオフィスを拠点として、①次世代型のマヤ考古学調査研究法の開拓、②文理医融合の調査研究アプローチを実践する世界的研究拠点の創成、③融合研究成果の社会還元・社会実装・各分野におけるSDGs達成への貢献を進展させます。

研究事例

パレオゲノミクスと次世代考古学

遺跡から出土した古人骨のゲノム解析により、王朝の起源・発展・衰退プロセス、コパン王家の構成員の親族関係・血縁関係を明らかにしていきます。



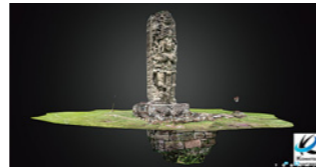
宇宙線物理学と次世代考古学

ミュオン粒子の物質貫通力を利用した石造建造物の内部透視により、非破壊的考古学調査法を開拓し、未知の王墓空間を発見・同定していきます。



三次元計測科学と次世代考古学

LiDARやドローンを使った地上計測・航空計測、フォトグラメトリ等により、遺跡のマルチスケール3Dモデルを構築していきます。



構築した3D
計測の成果物



文化資源学と次世代考古学

研究成果の社会還元・社会実装を進め、文化資源学的観点から文化遺産国際協力や小松市の文化遺産の魅力発信や地域創生に協力していきます。



次世代考古学研究センターの活動等については
右記QRコードからご確認ください。



Message

本研究センターは、「石の文化・文明」を共通のキーワードとして、中米マヤ文明を代表するティカル遺跡とコパン遺跡に加え、小松市の石の文化遺産の調査研究を進めています。「考古学」＝「人文社会科学の一分野」という既成概念を打ち破る次世代型の考古学では、理系、医系の学問分野との協働がますます重視され、最先端技術の適用により画期的な研究成果が生み出されると同時に、現代社会との関係がこれまで以上に重視され、研究成果の社会還元・社会実装がより強く求められるでしょう。我々はその先頭を走りたいと思っています。



次世代考古学研究センター長
中村 誠一 特別招聘教授

設立の目的
次世代考古学研究センターは、公立小松大学が有する人的・知的資源を活用して、国内外の文化資源に関する次世代型の研究拠点となることを目的に設立しました。特に、革新的な医系、理系の研究や科学技術を、

マヤ文明を代表する世界遺産遺跡の考古学調査や小松の石文化研究と融合させて教育研究を行うことで、他の大学・研究機関にない特色のある研究センターを目指していきます。

公立小松大学は、2023年4月に「次世代考古学研究センター」を新たに設立しました。センター設立の目的や研究内容等について紹介します。

次世代 考古学研究センターを 設立しました

Topics

ホンジュラス国立人類学歴史学研究所と世界遺産「コパンのマヤ遺跡」の調査研究・保存に関する実施協定を締結

本実施協定締結により、公立小松大学は、世界の研究機関の中で唯一、ホンジュラスのコパン・アクロポリスの北西に位置する神殿7、神殿8、神殿11の調査研究権を取得しました。今後、次世代考古学研究センター長の中村誠一特別招聘教授の指揮のもと、ホンジュラス国立人類学歴史学研究所と共同で、集中的な発掘調査、修復保存活動が展開されていきます。



左：オマール・タラベラ氏（ホンジュラス国立人類学歴史学研究所副所長）、右：山本学長

コパン遺跡神聖文字の階段と球技場（ホンジュラス共和国）

2023年9月～2024年3月

スケジュール

2023年

～9月26日(火)

夏季休業

9月27日(水)

後期授業開始

※履修登録は、10月10日(火)まで

10月14日(土)

シーズ・ニーズマッチング
シンポジウム

10月21日(土)

大学祭「青松祭」

10月29日(日)

市民公開フォーラム

11月18日(土)

学校推薦型選抜(地域推薦)、
社会人選抜

12月26日(火)～1月14日(日)

冬季休業

2024年

1月13日(土)・14日(日)

大学入学共通テスト

2月3日(土)

学校推薦型選抜(一般推薦)

2月5日(月)～15日(木)

後期試験(補講・試験予備日含む)

2月16日(金)～3月31日(日)

春季休業

2月25日(日)

一般選抜(前期日程)

3月10日(日)

一般選抜(中期日程)

3月中旬～下旬

学位記授与式

輝く公立小松大生

(一社)日本機械学会北陸信越支部賞
学生賞(卒業研究発表の部)
坂下ちえりさん
(生産システム科学科4年※受賞当時)



(一社)情報処理学会第85回全国大会
学生奨励賞
池田理玖さん
(大学院生産システム科学専攻1年※受賞当時)



中国語検定HSK試験 6級合格
藤田彩楓さん
(国際文化交流学科4年)



教員受賞・功績一覧

■生産システム科学科

木村繁男教授 (一社)日本機械学会北陸信越支部「感謝状」
岩田佳雄教授 (一社)日本機械学会北陸信越支部「優秀講演賞」

■臨床工学科

仲田浩規教授 日本アンドロロジー学会「学会賞(基礎部門)」

★学長表彰 受賞者一覧

令和4年度の学業成績が特に優秀だったとして、各学科から推薦された下記45人が学長表彰に選ばれました。

【生産システム科学科】(15人)

貝灰陸、新村隆、千田了、中村龍ノ介、宮野夢生、上田拓矢、藤本陸、
村田さくら、山口隼輝、山口真輝、青木友里、池田一颯、亀谷尚央、
近間亮太、野村翔太

【看護学科】(7人)

辻口詩乃、長島由佳、長谷川万莉、鈴木茉央、竹村柚葉、鮎田澄紗、清水海優

【臨床工学科】(8人)

野崎桜花、堀彰吾、一幅夕織、佐藤真耶、宮森須弥子、奥脇彩乃、佐藤玲実、
中村友香

【国際文化交流学科】(15人)

石上ももこ、岡崎はな、叶佳嬪、
木村桃花、松本彩里、小林美月、
後藤友香、林佑依奈、前田圭菜、
渡邊由輝、上田桃、内野美優、
川添るもい、小間井紗彩、
米田好花



国際文化交流学科 表彰式

★令和5年度新規着任教員

- 看護学科/伊藤道子(教授)、木森佳子(教授)、高木祐介(教授)、山田奈津子(助教)
- 臨床工学科/山岡哲二(教授)、山岡禎久(教授)、山田昭博(准教授)
- 国際文化交流学科/魏金美(准教授)
- サステイナブルシステム科学研究科/中村誠一(特別招聘教授)、小川雅洋(特任助教)

★末広キャンパス 研究実験棟修祓式・竣工式

6/5 (月)

末広キャンパス研究実験棟の修祓式・竣工式を行い、石田理事長、山本学長をはじめ来賓の宮橋小松市長、新田小松市議会議員、工事関係者など18人が出席しました。竣工式では石田理事長が「地元との協力があって今日を迎えることができた。世界を志しながら多岐にわたる研究が行われるよう努めていく」と式辞を述べました。

式典終了後には研究実験棟内の施設見学を行い、山本学長が施設内を説明しました。



★グランドピアノ寄贈 感謝状贈呈式

6/21 (水)

小松市出身で声楽の指導者として活躍されている尾坂尚子様よりグランドピアノを寄贈いただき、感謝状贈呈式を執り行いました。贈呈式では、石田理事長が感謝の意を述べ、尾坂様からはヤマハピアノの始まりについてのエピソードを添えつつ、「このピアノが公立小松大学に嫁入りできうれしい限りです。大いに触って、可愛がってあげてください」とお言葉をいただきました。



▶グランドピアノは末広キャンパス食堂に設置しました。

★学生スタッフも活躍 オープンキャンパス2023

7/15 (土)



3キャンパスで「オープンキャンパス2023」を開催。500人を超える参加者が学科説明や模擬授業、模擬演習、キャンパス見学、学生交流など様々なプログラムを体験し、各キャンパスとも終始活気にあふれていました。

公立小松大学 TOPICS

2023年3月～8月

★第2期生227人が卒業 令和4年度学位記授与式

3/23 (木)

石川県小松市團十郎芸術劇場うららにて、令和4年度学位記授与式を執り行い、生産システム科学科75名、看護学科50名、臨床工学科30名、国際文化交流学科75名、合計230名が卒業しました。

また卒業生を代表し、看護学科の浅沼絢花さんが、「大学生活を支えて下さった多くの方々への感謝を忘れずに、これからも日々精進してまいります」と教員や友人への感謝を述べました。



★学部生244人、大学院生16人入学 令和5年度入学宣誓式

4/2 (日)

石川県小松市團十郎芸術劇場うららにて、令和5年度公立小松大学・大学院入学宣誓式を執り行い、生産システム科学科75名、看護学科52名、臨床工学科31名、国際文化交流学科86名、大学院サステイナブルシステム科学研究科16名、合計260名が入学しました。

山本学長による入学許可の後、入学生を代表して看護学科の松井美優さん、サステイナブルシステム科学研究科ヘルスケアシステム科学専攻の伊藤翔音さんが宣誓を行いました。





うえだ よしひろ
上田 芳弘 教授
(生産システム科学科)
Yoshihiko Ueda

デジタル技術を駆使してシステムを構築

近年、クラウドやAI、IoTに代表されるデジタル技術を駆使したシステム開発が急速に進展しており、大きな社会変革につながっています。私は、こうしたシステム開発は、ユーザである「人」を中心に行われるべきと考え、そのため、蓄積された人の知識を抽出、あるいは新たな知識を創成することにより、より簡便で効率的に知識を共有・活用できるシステムの構築を目指しています。

これは、例えば、製品にキズや変形がないかをチェックする「製品外観検査」は、人が肉眼で検査するのが主流ですが、AIを用いて多くの正常画像を学習させることで、異常を検知できるシステムを開発したほか、文書の作成・校正作業において、過去の文書修正データから校正ルールを抽出して作業を効率化すると、といった研究を行ってきました。そのほかにも、スマートフォンアプリを使って簡易的に睡眠時無呼吸症候群の検査を行う研究や、バレーボールや剣道などのスポーツ解析の研究にも携わっています。



石川県工業試験場で勤務していた時に開設に携わった「デジタル技術支援工房」。(出典：石川県工業試験場ホームページ <https://www.irii.go.jp/mono/>)

本学赴任前は石川県工業試験場という石川県庁の機関に31年間勤めました。この機関は県内の主に製造業の企業の技術課題を支援するために試験、研究開発、技術相談対応といった業務を行っています。この間、多くの企業人と知り合い、技術や製品の開発、改善に懸命に取り組み姿に接し、課題があれば何でも最大限に活用して、貢献、応援したいと思うようになりました。電子・情報分野での勤務が長くなりましたが、より多くの分野での課題解決に挑戦したい

*

最新のAI技術を活用して諸課題解決に挑戦

デジタル化進展の背景には、技術の急速な発展がありますが、特にAIの進歩は近年、目を見張るものがあります。深層学習が注目されるようになった当初は、画像認識や囲碁などのゲームの分野で人間を超えるようなシステム開発が進められました。その後、英語や日本語などの自然言語処理や画像生成でも人が作成したものと見分けがつかない文章や画像がAIによって生成されるようになってきました。このような技術は非常に興味深く、様々な課題への応用の可能性を探求することに挑戦し続けたいと思っています。

学生へのエール

好きなことを見つけ、そこでの課題を継続して探求してみてください。好きなことは継続

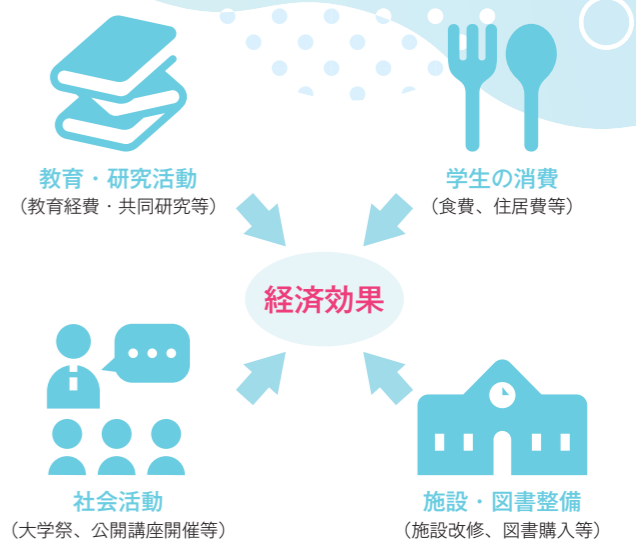
私の休日



休日には野球観戦と、キャンプなどのアウトドアを楽しんでいます。また近年は、AIには説明能力が不足していると言われていて、将棋を解説本やテレビ番組で学習することなくAIとの対戦だけで何処まで上達できるかに挑戦しています。

できる可能性が高く、継続すれば新たなことに到達できるかもしれません。そうなると思いを少しずつ持っていて、好きなこと、好きな環境が生まれます。次に、別なことも好きになるにはどうすれば良いかを体得できれば素晴らしい経験になると思います。

公立小松大学が地域に及ぼす経済波及効果



公立小松大学が現状においてどの程度地域に貢献しているかについて、経済的な観点から定量的に把握することを目的に、大学立地による経済波及効果の測定を実施しましたので、その結果を公表します。

☆石川県への経済波及効果は……4年間で **158億5900万円**※

○4年間の雇用誘発数は **1041人**、地方税の税収効果は **5億3500万円**
○大学の経常費用に対して4年間累計で **2.5倍**の経済効果をもたらしています

☆小松市への経済波及効果は……4年間で **104億100万円**※

○4年間の雇用誘発数は **718人**、地方税の税収効果は **3億6900万円**
○大学の経常費用に対して4年間累計で **1.6倍**の経済効果をもたらしています

※いずれも2018年度～2021年度の4年間における経済波及効果

新入生インタビュー

広報室学生委員が大学でやりたいことを聞いてみました



私たちが取材しました!

留学に行ってみたい



国際文化交流学科
野村 壮克さん

何事も前向きに取り組みたいです



看護学科
谷口 誓さん

いろんなことに挑戦したい



生産システム科学科
小谷 寅太郎さん

語学の勉強を頑張りたい



国際文化交流学科
古谷 美結さん

研究手法を学びたい



大学院ヘルスケアシステム科学専攻
角浦 裕里さん

資格をたくさん取りたい



生産システム科学科
佐々木 諒さん

保健師の資格を取りたい



看護学科
藤崎 咲良さん

勉学に励みたい



臨床工学科
中田 紗彩さん